

## 🏆 令和元年度山口県選奨 (産業功労)



令和元年度 産業功労受賞者 (右から)  
森近 孝己氏 (㈱ボスコ・前岩国支部長)  
金子 春喜氏 (村田建設㈱・周南支部)

令和元年12月19日、山口県選奨(※)の選奨式が山口県庁で行われ、55個人5団体がその功績を称えられました。式典では、最初に村岡副政山口県知事が、自ら一人ひとりに声をかけながら、選奨状を手渡しました。

全員に選奨状を渡し終わると、知事からは「卓越した見識と経験を生かし、県民福祉の向上と県政発展に支援と協力をお願いします」とお祝いの言葉が述べられました。

本協会からは、㈱ボスコ(岩国支部)の森近孝己氏(前岩国支部長)と村田建設㈱(周南支部)の金子春喜氏(平成15年建設マスター)の2名が「産業功労」として受賞されました。



村岡知事

### 🔍 山口県選奨とは

山口県選奨は、県民の福祉の増進に関し、顕著な功績があった個人または団体に対して贈られるもの。

自治、芸術・文化・スポーツ、社会福祉、社会活動、教育、保健衛生・環境、産業の7分野に分けて表彰されます。

## 🏆 優秀施工者(建設マスター) 国土交通大臣顕彰



令和元年度 優秀施工者 (右から)  
藤井 信行氏 (㈱南藤井組・井森工業㈱推薦)  
二家本 豊氏 (㈱中谷建工・勝井建設㈱推薦)  
羽根 政幸氏 (熊野舗道工業㈱推薦)

令和元年10月11日、東京都のメルパルクホールで開催された「令和元年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典」において、建設マスター(※)456名と建設ジュニアマスター105名の授与式が行われました。本協会では山口県土木建築部と共に、毎年秋に「山口県優良工事表彰」を受賞された会員企業を対象に候補者の推薦を行っており、令和元年度については上記の3名が顕彰されました。

式典では建設マスター顕彰者を代表して山口県の栗栖氏が代表謝辞を述べられ「私達は日頃、優れた仕事をするを最大の誇りとし、日々進歩する技術・技能の取得と研鑽の為、一筋に精進してきました。近年では自然災害が数多く発生し、その都度数多くの尊い命や財産が失われている現状を知る度に、災害からの復旧・復興はもとより、災害に強い国土を作ることが、重要な役割だと思っている。今回の栄誉を深く胸に刻み、更に自己の技術・技能向上を目指し、次世代を担う



栗栖氏

後進の指導・育成に積極的に取り組み、建設業の発展に貢献していきたい。」と、決意を表明されました。

### 🔍 建設マスターとは

建設マスター制度は、建設現場において工事施工に直接従事し、優秀な技能・技術を有する建設技能者を「優秀施工者」として国土交通大臣が顕彰するもので、平成4年度に創設されました。

また「建設ジュニアマスター」は、現場経験10年以上、39歳以下の若手を対象としており、建設業界の喫緊の課題である若年入職促進活動の一環として、平成27年度に創設されました。

## 🏆 「建設業社会貢献活動功労者表彰」を周南支部が受賞!



松江支部長 (周南支部)

令和元年7月24日、(一社)全国建設業協会(全建)による、第14回「建設業社会貢献活動推進月間(※)中央行事」が東京都の経団連会館において開催されました。

冒頭、近藤晴貞全建会長から「平成30年末、政府において、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策が決定され、6月に成立した「新・担い手三法」では、災害時の緊急対応強化が新たに盛り込まれた。全建としても、災害発生時の地域の安全・安心を守るため、各都道府県建設業協会だけでなく、発注者等とも協力しながら、一体となって対応できるよう体制を整備したい」と挨拶がありました。

その後、災害復旧支援活動や環境美化活動など6つの部門毎に受賞式が行われ、全国で24の協会、25社の会員企業が受賞。本協会については、周南支部が平成23年から8年にわたり、道路環境美化活動を実施してきた実績が認められ、「環境美化活動」部門での受賞となりました。



### 🔍 建設業社会貢献活動推進月間とは

(一社)全国建設業協会では、地域の建設業が行っている社会貢献活動を国民に正しく理解・認識してもらうために、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定めています。

月間中には各県建設業協会は会員企業と連携して、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を広くアピールするとともに、公共事業への理解を深める活動を展開しています。